

2013 年度生涯学習論Ⅱ（火曜日 1 限目）

Lifelong Learning II

担当： 留学生日本語教育センター 教授 谷 和明

連絡先 留日棟 503 TEL/FAX 042-330-5773

Email: sk-tani@tufs.ac.jp

<http://w.livedoor.jp/lifelonglearningtufs/>

【授業の目標と概要】

「教育全体の哲学、概念的枠組、体系化の原理」(UNESCO) とされる生涯学習の理論と実践を、歴史、実践(制度、政策、施設)、理論という3つの視点から検討し、その現代的意義を理解する。

後期Ⅱでは生涯学習実践の内実を規定する「おとなの学習」に関する近年の理論的発展の検討を通じて、生涯学習社会形成の可能性について明らかにする。前期に継続して、教室での講義・討論に並行して近隣自治体の生涯学習施設調査を実施する。

【授業計画】

- 10月1日 第1回 後期のガイダンス：生涯学習理念と近隣自治体の生涯学習調査
- 10月8日 第2回 現代日本の生涯学習の現状と問題の再検討 公民館の学習講座
- 10月15日 第3回 ポスト 3.11 の学習課題：ドイツの経験
- 10月22日 第4回 Andragogy1：啓蒙とおとなの学習：市民革命期の生涯学習構想
- 10月29日 第5回 Andragogy2：おとなの学習理論の展開の概要
- 11月5日 第6回 Andragogy3：学校教育批判
- 11月12日 第7回 Andragogy4：抑圧と解放の教育学
- 11月26日 第8回 Andragogy5：生涯発達課題論
- 12月3日 第9回 Andragogy6：自己決定学習論
- 12月10日 第10回 Andragogy7：意識変容的学習論
- 12月17日 第11回 Andragogy8：状況的学習と実践のコミュニティ自己組織的学習論
- 1月14日 第12回 近隣自治体での生涯学習事業の検討(1) — 調査の振り返り学習
- 1月21日 第13回 近隣自治体での生涯学習事業の検討(2) — 調査の振り返り学習
- 1月28日 第14回 生涯学習について新しく学んだこと 討論
- 2月4日 第15回 まとめ おとなの学習理論と日本の生涯学習の特色

【成績評価】

期末レポート(70%)と調査活動を含む平常点(30%)とによって評価します。

【受講上の注意】

第1回目の授業で指示します。

生涯学習の現場を知るために、施設調査にも積極的に参加してもらいます。

【テキスト・教材】

原則として授業で使用するレジュメ、資料を事前に本サイトにアップしておくので、受講生はそれをダウンロードしたうえで持参する。

参考文献

*第6回国際成人教育会議のための国内「草の根会議」編『日本の社会教育・成人教育—最近12年の政策・実践・運動：分析と提言—』2009年(非売品：自家製本版)

*参考文献日本公民館学会編『公民館のデザイン』エイデル研究所2010